

## 第三回新潟大学留学生アンケート調査に寄せて

### The Survey on the International Students in Niigata University

柴田 幹夫

shibata@isc.niigata-u.ac.jp

---

This paper is a summary of the survey on the International Students in Niigata University conducted in 2010. Based on the results of the survey, suggestions and implications were made for further improving the learning environment for the students.

---

#### アンケート調査の概要

##### 1 目的

新潟大学に在籍する外国人留学生の勉学・研究および日常生活状況を把握することにより、留学生に対する福利厚生、修学支援、授業、研究環境、課外活動などの現状を改善することを目的とする。

##### 2 調査対象

留学生全員（364名）2010（平成22）年度2月1日現在在籍の留学生。

##### 3 調査方法

平成22年1月26日に留学生全員にアンケート（①留学生自身について②日本語について③研究について④チューター制度について⑤留学生活について〈住居、健康、アルバイト、奨学金などを含むという五つの柱を中心〉にして、日本語、英語、中国語及び韓国語で作成した）を郵便で届けられた住所に送付し、アンケートに回答してもらい、同封した返信用封書に入れて、2月6日締めきりで、ポストに投函してもらった。

##### 4 回答者数

123名（38%）の留学生より回答を得た。

#### アンケート集計について

##### I 本人について

###### 1-1 出身国

回答者は123名であった。この数は留学生総数の38%である。5年間に実施した同様のアンケート調査では回答者数168名であり、40%であった。前回より回答者数は減少したが（率

に換算すると余り変わらない) 忙しい中、丁寧に回答してくれた留学生に感謝したい。

回答者の出身国は20カ国で、国別では中国が86名、次いで台湾6名、バングラデシュ6名、韓国6名と続いた。

出身国				使用言語			
国籍	人数	国籍	人数	言語	人数	言語	人数
中国	86	タイ	1	中国語	87	スペイン語	1
台湾	6	チリ	1	英語	7	タイ語	1
バングラデシュ	6	ドイツ	1	モンゴル語	7	フランス語	1
韓国	5	ナイジェリア	1	バングラデシュ語	6	ベトナム語	1
ロシア	3	ブラジル	1	朝鮮語	3	ポルトガル語	1
モンゴル	2	フランス	1	ロシア語	3	マレーシア語	1
アルバニア	2	ベトナム	1	アルバニア語	2		
アメリカ	1	マレーシア	1	ミャンマー語	2	合計	123
イギリス	1	ミャンマー	1				
インドネシア	1						
ケニア	1	合計	123				

### 1-2 男女比

男女比については、男性53名、女性70名であった。

### 1-3 年齢

いわゆる日本で言う一般的な大学生の年齢に当たる留学生は25名いた。前回の調査よりも4倍強になった。このことは学部留学生数が大幅に増加したものと考えられる。全般的には留学生の年齢構成はかなり高い。これは大学院生の占める割合が多いからであろう。

### 1-4 留学経験

大部分の学生は、日本への留学経験は初めてである。

### 1-5 滞在年数

日本での滞在年数であるが、一年未満の学生が圧倒的に多かった。

### 1-6 所属 学部別 費用

学部生は63名(教育学部7名、工学部15名、医学部7名、歯学部7名と続く)で、大学院生と国際センターは59名(現代社会文化研究科18名、自然科学研究科18名、国際センター16名と続く)である。

私費留学生は106名で、国費及び国費に準ずる公的な外国政府派遣、新潟県費派遣留学生は

18名しかいなかった。

## II 言語について

### 2-1 言語使用

日本が話せば使いたいという学生と日本にいるから日本語を使った方がいいという学生が比較的多く、日本語がわからなくてもいいという学生はほとんどいなかった。ただ、研究、勉強に際して、英語がいいという学生も少なからずいた。

### 2-2 日本語の必要性

日本語が必要かという設問であるが、日本人との交流のとき必要であるという回答が一番多く、授業や発表の時また先生からの指導、教科書や論文を読む、テレビを見るときに必要であると続いている。

### 2-3 省略

### 2-4 日本語を勉強しているか

94名の学生が今も日本語を継続して勉強しているが、28名もの学生は今は勉強していないと答えている。その理由として、専門の勉強が忙しいからが一番多かった。また勉強及び研究に日本語が必要ないという答えも多かった。十分な日本語を話せるから必要がない学生もいた。

日本語の学習方法としては、自分一人で勉強していると答えた学生は65名いた。次いで51名が国際センターの日本語クラスで勉強していると答えている。

## III 人間関係について

### 3-1 指導教員

指導教員とどのくらい会っていますかという設問であるが、週に一回が69%、2週に一回が16%であった。ほとんど会わない学生も少なからずいた（3%）。

### 3-2 指導について

103名の学生が研究上の指導を受けていて、43%にも達している。又生活上の相談に行く学生は31%であった。ほとんど指導を受けていない学生は1%しかいなかった。

### 3-3 自由意見（末尾に記載）

### 3-4 チューター

チューターはいると答えた学生は74名で49名の学生はいないと答えた。チューターが何をしてくれるかということについては、生活上の相談と、研究上の指導がそれぞれ28%、21%を占める。次いで日本語の指導が20%に達する。何もしてくれないと答えたのは、3%しかいなかった。チューター制度がだんだん機能してきたことがわかる。

必要か否かと言うことについては、必要でないと答えたのが一番多かった。また手続きがわからないという回答も多かった。チューター制度そのものを知らない留学生も多くいた。

### 3-5 自由意見（末尾に記載）

### 3-6 日本人の友人

日本人の友人がいると答えた留学生は116名でいないと答えた学生は7名しかいなかった。大多数の留学生は日本人と交流を持っているようである。

知り合ったきっかけの多くは、研究室が同じであるとか、同じ授業、同じゼミ、アルバイトが同じであるという回答が続いた。友人とどんなことをしているかという質問では、日常会話を交わす程度がおおく、次いで一緒に食事したり、遊んだりしている学生も多い。又日本語を教えてもらっている留学生も多かった。

### 3-7 自由意見（末尾に記載）

## IV 新潟大学での留学生活について

### 4-1 現在の住所

五十嵐、大学南、内野地区に住んでいる留学生が93名で75%を占める。また旭町地域に住んでいると思われる学生も18名、14%いた（確かに旭町地域とは断定できないが、五十嵐キャンパス付近ではないことは確かである）。概して大学の近隣に住居を持つ学生が多かった。

### 4-2 住居形態

キッチン・バス付きのアパートやマンションに住んでいる学生が52名で43%であった。国際交流会館や学生寮に住んでいる留学生もそれぞれ29%、18%にもおよんだ。ホームステイしている学生はいなかった。

### 4-3 学生寮・国際交流会館

学生寮・国際交流会館への入居希望者は93名にもおよび、入居希望者が多いことを物語っている。その理由としては、第一に安いからということであった。又近いということや、多くの友人と知り合えるからという答えも多かった。学生寮・国際交流会館は安く入居できるということと、そこで多くの学生と交流できるというメリットがあるように思える。本学の

### 第三回新潟大学留学生アンケート調査に寄せて

学生寮・国際交流会館は留学生全員が入居できるにはほど遠い施設であるが、留学生が入居したいという希望があると言うことを考えるべきであろう。

#### 4-4 住居の斡旋

すぐに住みたいアパートなどが見つかりましたか、という設問では、はいと答えたのが、37%、38名で、いいえと答えたのが25%、25名もいた。

#### 4-5 住居の保証人問題

すぐに住居を探し得ない理由としては、保証人がなかなか見つからないことがあげられよう。指導教員が保証人になっていると答えたのは37名、36%であり、他の教員や日本人の友人に依頼して保証人になってもらっている留学生も多くいる。最近では保証人が必要ないというところもかなり出てきたようである（今回の調査では17名、16%の留学生は保証人は必要なかった）。

#### 4-6 通学方法

通学方法はやはり留学生の多くが大学の近くに住んでいるせいか、徒歩と自転車で通学しているというのがほとんどである。両方合わせて実に94%であった。

#### 4-7 通学時間

上記の問いに呼応するかのようになり、やはり通学時間は15分以内と答えたものは98名、80%であった。

#### 4-8 平均収入

1ヶ月の平均収入であるが、5万以下と答えた学生は多く、51名もいた。ただ10万円以上の学生も29名もいた。5万円以下で生活費、家賃、それに学費などを考えるとかなり苦しい生活を強いられていると言うことがわかる。

#### 4-9 平均支出

4-8の項で平均収入がわかったが、平均支出の方は、5万から10万円という回答が57名あった。5万以下の学生は18名、16%であった。収入と支出のバランスが取れていない、整合性のない回答であったように思われる。

#### 4-10 アルバイト経験

アルバイトをしたことがない留学生は63名で、アルバイト経験のある学生57名より多かった。半数以上の学生がアルバイトを経験していない。国費及び国費に準ずる学生が多いからであろうか。かなり恵まれた留学生たちであろう。ただ理系や医歯学系の学生は実験や実習などでアルバイトどころではないかも知れない。アルバイトの効用については、ただお金を

儲けると言うだけでなく、日本人や、日本社会を理解する上でも、留学生にとっては有益なものとなり得ることだろう。

アルバイトの職種については、サービス業が最も多く、四分の三以上を占めている。紹介先は知り合い或いは自分で探すというのが多かった。大学で紹介を受けるというのはわずか11名だけであった。本学の学生課によるアルバイト紹介は、留学生不可となっているものもあり、留学生にとっては厳しいものとなっている。何とか改善する方向で持って行けないのか。

週あたりのアルバイト時間は、10時間から20時間が最も多く、37%を占める。20時間以上アルバイトをしている学生も18%いた。

#### 4-11 病気

新潟大学に入って病気になったことがあるかという設問であるが、32%の学生39名がかかったことがあると答えている。異国の地で病気になるということは、非常に心細いことであり、寂しさを感じるものである、健康であることが留学生活にとって一番重要であると言っても過言ではない。

#### 4-12 健康状態

現在健康状態がいいと答えた学生は、107名もいた。16名の学生が身体に異常があるか、精神的に問題があると答えている。

#### 4-13 保健管理センター

本学には、保健管理センターがあり、新潟大学の学生の健康状態について治療行為及び相談を受けている。ただ残念なことに、留学生の多くは、保健管理センターに行ったことはない。82名、66%に達する。また行ったが役に立たないと答えた学生は9名もいた。18名、15%の学生は他の医療機関を利用したと答えている。

#### 4-14 健康診断

健康診断を受けたことがない留学生は76名いた。62%を占める。健康状態を自分で知っておくことは、大変重要なことであるが、受診状況が余りよくないのは、どういう原因なのであろうか。告知の問題が大きいのであろうか。

#### 4-15 留学の理由

日本に留学した理由は、千差万別であるが、日本語や日本文化を学びたいと答えたのが、30%であり、専門レベルの研究をしたいが25%を上回っている。これは国際センターの方で日本語中心の短期留学クラスや交換留学生クラスを開講したからであろう。学位の取得が20%と続く。

#### 4-16 新潟大学に入学した理由

本学に留学した理由は、指導を受けたい教員がいるが31%で第一位を占め、続いて、専門レベルが高い(25%)、知り合いがいる(12%)、と続く。留学生の支援やサービスなどが充実していると答えた学生は(14%)にもおよんだ。

#### 4-17 ガイダンス

本学では新入生対象にガイダンス(オリエンテーション)を行っているが、その理解度について聞いてみた。全部出来た22名(18%)、ほとんど理解できた58名(48%)と続き、70%近くの学生が理解できたと答えている。その反面11名の学生がほとんど全く理解できなかったと答えている。おそらく日本語能力の欠如から理解できないものと思われるが、ガイダンスのやり方を工夫しなければならないかも知れない。

#### 4-18 ガイダンスの改善点

上記の設問にあるようにガイダンスについては、多くの学生が理解しているが、やはり簡単に、わかりやすく、ゆっくり説明して欲しいという意見も多くあった。

#### 4-19 留学生の手引き

国際センターでは全留学生を対象にして(とくに新入生)、「留学生の手引き」(日本語、英語、中国語、韓国語版がある)を配布しているが、あまり有効的に活用されていない実態がわかった。90%以上の学生が、あまり使わない、ほとんど使わないと答えている。

あまり使わない大きな理由は、やはり留学生は今欲しがっている情報があまり提供されていないという点にある。ビザや家族の呼び寄せについて知りたいという回答が多かった。

#### 4-20 新潟大学ホームページ

新潟大学入学前の、本学のホームページを閲覧したことがあるかどうかという設問ですが、103名(84%)の学生が本学のホームページにアクセスしたことがあると答えている。それに比べて「研究・産学連携・国際交流」(国際センター)のホームページによくアクセスしたことがあると答えたのは、わずか22名(23%)で、たまにアクセスするは63名(66%)、全くしないと答えたのは11名(11%)であった。

#### 4-21 研修旅行に参加したことの有無

国際センター主催の研修旅行に参加したことがあるかどうか聞いてみました。あると答えたのは、85名(75%)であり、参加したことはないという答えを大きく引き離している。参加しない理由の多くは、知らない、タイミングがよくない(日時設定の問題)、勉強が忙しいから、と続く。

#### 4-22 奨学金

現在奨学金を受給している留学生は、100名（81%）にも及んでいる。今回このアンケートに協力してくれた多くの留学生は奨学金を受給して、あまりアルバイトもしていない、比較的恵まれた留学生であることが臆気ながらわかってきた。受給額も月額8万円以上と答えた留学生は57%いた。

授業料の免除については、全額免除の学生は26名（27%）、半額免除は22名（22%）であり、合わせて50%近い留学生が何らかのかたちで免除を受けている。ただ5名の留学生は申請したが許可されなかったと言っており、又この制度を知らない学生も21名いた。おそらく短期留学推進制度で来た学生や、交換留学の学生にとっては知るよしもないことであろう。

#### 4-23 新潟大学に関する情報

新潟大学に入学する前に、大学の情報を収集しましたかという設問には、20名（17%）の留学生が何らかのかたちで、本学の情報を入手したことがわかります。100名、83%の学生は本学の情報を全く集めなかったという結果になった。その情報の集め方であるが、インターネットや知り合い、先輩からの情報がその大部分を占めています。

#### 4-24 来日前に欲しい情報や準備

日本に来る前に、どんな情報や準備があった方がいいかという設問では、留学生に対する奨学金の情報が75名と一番多く、次いで応募方法、入国手続き、講義内容と続きます。授業や研究よりも、まず知りたい情報としては、奨学金の有無であろうか。また留学生に対して、何をサポートしてくれるかと言うことが、一番重要なことである。

#### 4-25 新潟大学の留学生活

本学の留学生活についてどう思っているかという設問では、学生生活に満足していると答えたのは、75名、日本を深く理解したという回答も同様に75名あった。本学の留学生活については肯定的な意見が多かった。

#### 4-26 自由意見（末尾参照）

#### 4-27 心配していること

留学生に今心配していることはありますかと聞けば、ほとんどの学生はあると答えた。123名、実に77%におよんだ。どんな心配かと言うと、経済的な問題が一番多く、47名、23%、次いで勉強や研究の問題45名、20%と続き、言葉の問題、家族の問題、地域の人たちとの交流、研究室での交流、住居問題などと続きます。

#### 4-28 相談

困ったときに誰に相談しますか、という問いには、114名、93%の留学生は相談すると答えています。誰に相談するかということについては、同じ国の友人が最も多く70名、指導教員が51名、日本人の友人が43名と続きます。国際センターには19名、6%の学生しか相談に行かないという答えである。

#### 4-29 国際課

留学生と最も関係の深いところである国際課に行きますかという設問であるが、よく行くと答えた学生は71名、58%であり、あまり行かない、行ったことがないと答えたのは52名、42%おり、よく行くと答えた留学生の方が多くなっている。

#### 4-30 国際センター

国際センターに行ったことがあると答えた留学生は、92名（75%）いた。やはり授業やそのほかの用事で教員サイドの所には留学生は来る必要があるのであろう。

#### 4-31 ホームステイ

ホームステイプログラムを利用したことがあると答えた留学生は、30名（25%）しかいなかった。知らない学生や時間がないと答えるものもたくさんあった。ホームステイは地域交流の大きな柱であり、日本人社会を理解する上で一助となるものであるが、今後はより多くの留学生が参加できるプログラムでありたい。

#### 4-32 地域交流

どのようなかたちで地域の人々と交流をしてみたいかという設問ですが、旅行が最も多く、ボランティア活動、日本語の勉強、家庭訪問、困ったときに手伝って欲しい、茶道や着物などの文化的交流と続く。

学生も大学の構内をできれば一人の地域の構成員として存在しているのだから、自然な形で地域の人々と交流が出来るようになればいいのだが。

#### 4-33 日本での就職

卒業後日本で就職を希望しますか、という設問には、54名（44%）の人が日本で就職を希望している。56%の学生は、卒業後母国に帰り、就職をするということなのだろう。このことは社会の動向と無関係ではあるまい。昨今の日本の経済的不況や世界的な地位の低下に伴う、他国の追い上げによって、日本市場はあまり魅力のないものになってしまった観がある。

さて就職情報の入手方法であるが、先輩や友人の紹介、インターネットで情報を手に入れる、大学の就職部と続くが、手に入れていない学生も相当数いるのには驚いた。

## おわりに

先ごろ東京大学が「秋入学」へ全面移行すると発表し、本年4月に他の11大学及び経済界と協議をする場を立ち上げると表明した（『朝日新聞』2012年1月20日号）。それに対し、早速賛否両輪が渦巻くことになった。政府内では野田首相がグローバルな観点から評価したという。多くの大学では様子見ということであろうか、本学でも「2007年に実務者レベルのワーキンググループを設置し、「秋入学」のメリットやデメリットを検討したが、……現在では議論を中断している」（『新潟日報』2012年1月18日夕刊）とのことであった。今後の動きについては未定と言うことであろうか。

東大が早急とも思われる「秋入学」に移行しようとしたのは、ほかでもない優秀な留学生の確保に他ならない。グローバルな世の中になり、日本だけが「ガラパゴス」化に陥っては優秀な人材を確保できないという東大の焦りにも似た悲鳴が「秋入学」を推進させたのであろう。経済界は早くも賛意を示したのは、やはり人材の確保という点にあらう。

日本の留学生政策においても文科省が旗振り役になり「グローバル13」と呼ばれる取り組みが始まった。国立大7校、私立大6校によって始められたこの制度は、数年後には3000名近い留学生をそれぞれの大学が抱えることになる。3000名近い留学生が大学の構成員として存在するならば、否応なく大学は変わっていかねばならないし、また変わっていくはずである。受け入れる地域社会も当然変わっていくはずである。昨今の楽天やユニクロのように社内公用語として英語を用いている状況から見れば、やはり変わるであらう（私は社内公用語、英語を使うことには意見がある）。

優秀な外国人人材を確保しようとする動きは収まりそうもない。その波にうまく乗っていく方法としては、本学のような地方大学にとっては、いわゆる「面倒見」の良い大学を目指すべきであらう。そこが多くの留学生を吸収できるかどうかの分水嶺であらう。そのためには今回の留学生アンケートに記された留学生の生の意見に真摯に耳を傾けることが肝要である。彼らと同じ目線であることが必要である。

末尾意見など

Ⅲ－５

- ・チューター制度はとても良い。
- ・日本語の上達に役立つ。
- ・勉強を中心にチューターに助けてもらいたい。
- ・日本語学習の指導や助言をしてほしい。
- ・日本に長く住んでいてもチューターが必要。留学中にチューターがずっとあったらいいと思う。
- ・困ったことがあったら親切にアドバイスを与えてくれる。
- ・親切で、よく助けてくれた。
- ・たくさんのことを教えてくれて感謝している。
- ・できるだけ日本人にやってほしい。
- ・一年生の時、大学に入ったばかりだし、日本の大学の制度やシステムは全く分からなかった。その時にチューターが欲しかったけれども、いなかった。二年生の後期になると急にチューターがでてきて、びっくりしながらあまり役に立たなかった。
- ・とても役に立った。
- ・生活の方面でとても役に立つ。
- ・組織化されていて、実用的なシステム。
- ・日本の社会環境に適応するのに役立つ。
- ・どんな人かわからないから心配だ。
- ・いろいろと世話になり、感謝している。
- ・チューターが日本語しか話せないと大変だ。
- ・チューターともっとコミュニケーションがとれて、自分といる時間がもっと長ければいいと思う。
- ・日本に来たばかりで、チューターがいてとても助かった。
- ・制度はいいが、チューターの仕事に具体化が必要。
- ・もっとチューターと話したかった。
- ・チューターがあまり手伝ってくれなかった。
- ・自分にはチューターが必要ないかもしれない。
- ・チューターはさまざまなことを教えてくれるので最高だ。
- ・日本で生まれるさまざまな困難にチューターは親切に対応してくれた。
- ・留学生との連絡回数が少ない。
- ・できれば日本人のチューターがほしい。
- ・日本での生活に慣れるように、日本人で同じ学部の人がいい。
- ・さらに新しい歌が聴きたい。
- ・チューター制度は日本語の勉強に役立つ。

- ・日本に来た時はチューターが存在を知らなかった。今もチューターがいなくても、研究室の友達がチューターのようなものなので、チューターは必要ない。
- ・卒業までチューターが欲しい。
- ・あまり役に立たなかった。
- ・チューターは必要ない。
- ・チューターと自分、お互いに言語を勉強できる。
- ・制度がよく分からない。
- ・来日したばかりで手続きに困った時チューターがいればと思った。日本での生活に慣れてきたとしても本格的に学期が始まると気軽に相談できるチューターがいれば助かると思う。ただ、チューターの日本人の学生があまり積極的でないと残念だ。
- ・言語、生活の面でとても役に立った。
- ・この制度は知らなかったし、誰も教えてくれなかった。
- ・研究で、全面的にバックアップしてくれた。難しい問題にあたった時も、分析し、解決してくれた。

### Ⅲ - 7

- ・日本語をうまく話せるように、日本の文化をもっと理解できるようになると思う。
- ・会ったことが少ない。
- ・中国に興味がない日本人にとって、私たちと友達になれない感じがする。
- ・外国での一人暮らしを心配してくれる。留学経験のある人とはすぐに仲良くなれそうな気がする。
- ・日本人の友達がいれば、日本語をうまくしゃべれるようになると思う。
- ・友達がみんなまじめ。
- ・自分が積極的な性格ではないので日本人の友達は少ないが、みんないい人。
- ・できるだけ会話をしたほうがいい。
- ・十何年間の友達なので、ずっと仲良くあり続けたい。
- ・勉強になるし楽しかった。
- ・私の研究室では人との人間関係が難しかった。
- ・異文化で留学生のことをうけつけない人が少なくない。
- ・同じ講義を受けることで友達になったが、普段はあまり会わない。
- ・一緒に勉強したり、遊んだりしてくれてとても楽しかった。たがいに勉強になる。
- ・日本人と同じ研究室を使うので、たくさんの友達ができ。みんな親切で、一緒に勉強したり、遊んだりする。最初に日本に来た時いろんなことを教えてくれてとても助かった。
- ・普通に会話する時、話すスピードがやや速かったと思う。日本人の学部生との関係は難しく、大学院の学生との関係はいい。
- ・いい勉強のチャンスがある。

### 第三回新潟大学留学生アンケート調査に寄せて

- ・日本人と外国人の性格が違うが、いろいろ失敗した問題があるので、いろいろ教えてもらいたい。
- ・日本人の友達と日本の文化について話せてうれしかった。書き方や話し方などを教えてくれた。
- ・私の語学コースの人が日常生活においても助けてくれるので、とてもありがたかった。
- ・もっと多くの友達を作りたい。
- ・日本人の友達は本当にやさしく、困った時助けてくれる。
- ・東アジアの人々は消極的で、やさしいが友達になりにくい。日本人に対しても、私に対してもそうだ。
- ・英語を上手に話す。
- ・親切だが、忙しいので会う時間が短い。
- ・もっと多くの日本人と知り合いたいので、日本人との交流活動をもっと多くしてほしい。
- ・異文化の交流を目的として、お互いに信頼し、理解しあえる。
- ・私の日本語上達に役立つ。
- ・私の周りの日本人は全員親切だ。日本人ともっと交流したい。
- ・日本人の友達といろいろ交流したので以前より日本の社会、文化などを理解できるようになった。
- ・親切で優しい。
- ・日本ではいつも一人なので、話したい時誰もいないからさびしい。友達をもっと欲しいです。
- ・日本語をより学べる。
- ・日本人にはいろんな人がいる。
- ・日本語をより話せるようになり、より日本人と会話できるようになる。
- ・友達がいて生活が楽になった。
- ・話すのが早すぎてはつきり聞こえない。
- ・一緒にいると楽しい。
- ・日本人の人柄がよく、すぐに仲良くなれる。
- ・日本人の友達ととてもいい関係にある。
- ・韓国語や韓国に興味のある人が多いので、一緒に食事をしながらおしゃべりしたりするとストレス解消にもなるし楽しい。
- ・チューター制度のおかげで仲良くなれた。
- ・勉強を助けてほしいが、交流するのがなかなか難しい。
- ・日常生活で交流の場所がとても少なかった。交流の場所を増やしてほしい。
- ・多くを理解して欲しい。
- ・大学で日本人と交流する機会がとても少ないと思う。もっとたくさん会う機会が欲しい。そして、日本語を練習したい。
- ・日本人は保守的で、自分から仲を深めようとしてこない。

- ・みんな仲が良かった。
- ・日本の友人はみんなとても愉快で、一緒にいて楽しかった。日本語学習においても、多くを教えてくれて、とても助かった。
- ・日本人の友達はみんな熱心で親切です。
- ・日本の友人と関わる中で、生活習慣や生活方式、日本の教育の問題点が分かるようになった。

#### IV - 26

- ・留学生の生活支援金、奨学金、宿舍費補助を増やしてほしい。
- ・新潟大学の留学生への設備は整っており、特別悪いところは無い。
- ・日本人の友達と一緒に勉強して日本観を教えられた。
- ・新潟大学の研究の水準はとても高く、日本人の学生は大変な努力をしている。
- ・あまり関わりがないのでよくわからないが、積極的ではないというイメージがある。他人の事に無関心というイメージもある。
- ・いい大学で、優秀な学生が揃っている。
- ・この大学の日本人学生は本当に勉強を頑張っている。自分ももっとしっかりしなくてはならない。
- ・話し合う時、親切な感じがする。
- ・全ての事に感謝する。
- ・普通の学部生と各国から直接来た研究生などの人との交流はあまりなかった。
- ・制度と学習環境がいいので、学生たちは一生けん命勉強している。
- ・みんないい人だと思う。
- ・新潟大学はさすが信越地方の一流な国立大学である。
- ・大学は、留学生の勉強と生活にとっても注意を払っています。日本の学生は留学生にも熱心で、何かあったらすぐに手伝います。
- ・学生は、英語の学習にもっと時間を割くべきだ。
- ・外国人として、文化が違いますので、交流する時、お互いの理解が一番大切なこと。
- ・きれいで静かな大学です。日本人は親切です。大学生は時々コミュニケーションを知らない。
- ・新潟大学は大変いい大学で、学習水準も高い日本人の学習態度もいいです。
- ・多くの生徒は真剣に講義を聴いている。暇な時間ができれば、言語や文化を学ぶ。勉強をする時、アルバイトをする時、日本人はいつでもプランを描いている。
- ・日本人との交流の授業がもっと多くなっていいと思う。
- ・生き生きしていると思います。みなさん明るいです。
- ・新潟大学は私の大学より小さいですが、静かで温かい大学です。私が所属する学部は法科大学院ですから、日本人の学生は努力しています。高い目標がありますので、皆さんは毎

### 第三回新潟大学留学生アンケート調査に寄せて

日やる気満々。みたらすごく感動します。

- ・留学生の事には関心がなさそう。
- ・異文化で、留学生の事を受取らない人が少なくない。
- ・みんな熱心で優しい。
- ・日本人の友人からいつも刺激を受けています。
- ・日本人学生に対しては、もっと心を開いてほしい。
- ・国際化に興味を持つ学生は少ないだろう。
- ・人間関係や奨学金などのことで心配なく恵まれた環境で研究していることについて嬉しく思っております。図書館がもっと充実したらいいなと思います。
- ・新潟大学の国際課の先生たちは様々な活動をしてくれて、日本人の理解が深まった。国の異文化もたくさん理解できた。

### 34

- ・大きな問題はない、言語が通じず不便に思うこともあったがそれは自分の努力で改善できる。
- ・とくにありません。
- ・日本人の考え方が分からなくて、戸惑ったことがあります。
- ・新潟大学での生活はよかったです。
- ・研究内容や奨学金の申請、論文の書き方など、たまに先生と意見が違いますが、すぐに理解してもらえます。文化が違うため、考え方も違うのが原因だと思います。
- ・日本では公式的に朝鮮語と言うが、嫌な感じがした。
- ・生活にも慣れ、日本人との交流も順調です。楽しくなかったことはありません。
- ・ある研究室で日本人と話した時、ときどき冷淡でした。どうしてかわからない。
- ・日本語が上手くないし、アルバイトをやったことがないので、仕事を探しづらい。
- ・日本に住んでいる期間は短いですが、日本人は親切だと思います。日本人との関係はよかったです。研究室ではほかの日本人にいろいろお世話になりました。とてもよかったですと思う。
- ・新大の日本人学生にはもっと国際交流活動をして、他の国の文化を知ってもらいたいです。留学生からは学ぶ点が多いと思いますが、本当に留学生を尊重し、交流する人が少ないです。
- ・不愉快なことはない。
- ・一部の日本人が冷たい。日本人からの差別がある。
- ・日本語があまり上手でないので、研究室の中で話しかけてもらえない。日本人の英語が聞き取りづらい。
- ・日本人の家で2年間ホームステイしていたので、習慣や文化の違いによる、生活面での問題がありましたが、ホストファミリーと話し合い、双方が理解でき、日本や日本人について

て学ぶことができた。

- ・ 天気が悪いと買い物に行けない。でも天気の問題だからしかたないね。
- ・ 日本人の中国に対する考え方は人それぞれなので、一概に言いきれません。日本人にはもっと中国のことを分かってほしい。中国人にはもっと日本のことを分かってほしい。
- ・ 新潟大学の日本人学生は、外国人と接触するチャンスが少なく、外国人と話すのが下手なので、日本人と外国人がなかなか親しくしにくいと感じた。
- ・ 特にありませんが、歴史の話が出ると気まづくなります。お互いの国のことについて、もうちょっと自由な雰囲気、正直な気持ちを話し合えればいいと思っています。
- ・ 両国の習慣や文化が違うので、理解することが必要だと思います。
- ・ この半年、順調な生活を過ごしてきたので、特にありません。
- ・ 新潟大学の裏千家茶道部に入って、もう1年ぐらい経つというのに、まだ部員扱いされていない。部費も払っていないし、活動に参加するためには、自分で聞いてみないと分からない。茶道に対してかなり真剣なので、早く茶道部の一員として受け入れてほしい。
- ・ 日本では電車・バスの乗り方が、中国と大きく違うので、新しく入った留学生に、教えてくれば助かると思う。
- ・ 日本人は親切なので、日本の秩序を守っている以上は差別されません。
- ・ ないです。周りの日本人はやさしいです。
- ・ とときどき留学生のことを理解してくれない人がいる。態度や言葉遣いを間違えると、関係が悪くなってしまう。留学生は日本人のことを勉強しているが、分からないことがたくさんあるとこと理解してくれば、大変助かる。ヨーロッパ系の留学生のほうが、友達が多いらしい。多分ヨーロッパ系の留学生のほうが、英語が上手だからだ。
- ・ 日本人は中国人に対して多少の差別がある。
- ・ 自分たちしか分からない話題で盛り上がりすぎて、話に入れなくてとても不愉快で寂しかった。
- ・ 知らない人と会っても挨拶するというのは、私の国とは違います。
- ・ 日本人と中国人の生活や性格が違うので、失礼なことをしたことがあったかもしれないです。日本人から、日本の生活や性格についていろいろ教えてもらいたいです。
- ・ 日本人は中国人に偏見を持っている。
- ・ 日本に来たのは勉強のためであって政治的な話は考えたくもない。
- ・ 新潟大学では、日本の友人との摩擦、あるいは不愉快だと思うことは起こらなかった。新潟大学での生活も、比較的充実した。私は自身の留学生生活を有意義に過ごした。
- ・ 日本の保証人の制度はとても理解しにくい。日本人は留学生に対して担保を提供する時とても不親切。
- ・ 困ったこと→日本人は中国人の熱意を理解できない。私が人を助けた時に変な顔をする。
- ・ 日本人と中国人は立場が違うので、外国人の立場で物事を見てほしい。それが一番大事。
- ・ アルバイトをしたが、初めのころはよく馬鹿にされていた。意味が分からず何も言えなかった。

- ・私の新大生活は始まったばかりで、とても多くの先生や友達から指導をいただいている。とても感謝している。日本の文化で戸惑うことも多いが頑張りたい。

35

- ・今回の留学は、私の人生の中で大きな位置を占めている。度胸と勇敢さが身につき、よりいっそう努力ができるようになった。
- ・新潟大学での留学経験は、今後の人生で大きな助けになる。私の国中国でも科学の研究を続けることができる。全世界の人と世界平和のために努力する。
- ・大きな助けになった。日本の文化や社会の実態を知ることができた。今後は更に客観的に民族、文化間の差異を調べたい。さまざまな教授や研究生の助けで、自分の研究がはかどった。
- ・日本の文化の知ることができた。
- ・今回の留学は私の人生の中で最も美しい一部分だった。
- ・観察・理解・学習など非常に多くの経験ができて、とても貴重な経験ができたと思う。
- ・生かされると思う。日本で留学して、いろいろな勉強をして、自分の将来のために頑張りたい。
- ・勉強した日本語を生かして、就職したい。
- ・専門的なスキルを学んで、社会貢献できるとうれしいです。
- ・留学中に体験したことは、将来社会に出る際に役立ち、人生の中でも大切な部分になる。役に立つと思う。
- ・日本語に加えて、日本の文化を深く学ぶことで、日本の魅力を母国であるアルバニアに広く紹介したいと考えています。私の母国は60年もの間、社会主義経済であったため、自由主義経済の日本とは、政治システムや社会構造など、多くの面で違いがあります。しかし、世界はグローバル化によって、徐々に統一されると考えています。その意味においても、世界の文化大国である日本を学ぶことには、大変意味深いものがあると考えています。
- ・あまりない。
- ・今回の留学で勉強したことを就職に生かしたい。
- ・異文化を感じ、いろいろな人と出会い、一生忘れない思い出になると思います。
- ・このチャンスをつかんで、将来日本で就職するつもりです。そして、帰化して日本社会へ貢献したいと思います。
- ・今回の留学を通して、日本語の知識だけでなく、日本の風習や日本人の考え方など、日本のさまざまなことに対する理解が深くなったと思う。今後の仕事にもとても役立つと思う。それに、社会能力も向上したと思う。
- ・学歴を取得でき、日本語が上手になり、自分の総合能力が上がったと思います。
- ・専門が法律なので、日本の法律を勉強しました。この半年間は、法科大学院の授業を受け、勉強しました。日本語の能力も高められました。将来、弁護士になりたいので、日本に関

- する仕事があれば、この一年の留学で積み重ねた知識と交際能力は、必ず役に立ちます。
- ・あると思います。仕事にも有利ですし、視野も広がりました。
  - ・日本語の進歩だけでなく、日本の文化と日本人のやりかたを身につけられた。今後も、日本と中国の交流や、経済に貢献できると思う。
  - ・専門的な知識はもちろん、日本語も上手になった。国際交流の体験も大切だ。  
日本語ができることが一つの武器なので、仕事に生かしたい。また、今まで学んできた知識をもって、自分の国をさらに良くしたい。日本人の良い習慣を見習い、自分の国でもその習慣をみんなに教えたいと思います。
  - ・日本語のレベルの向上はもちろん、留学してから自分の狭い見方がだんだん変わり、大人になったような気がする。日本に留学したことは、すごくいい経験だと思う。
  - ・とても有意義な生活を経験した。
  - ・今回の留学中の経験は、今後の医学研究に、そして臨床への応用に深い影響を与えると思います。
  - ・私は将来社長になりたいと思っています。日本での留学経験をもっと生かして、日本と母国に関連する事業をしたいと考えています。
  - ・日本に来て、将来の夢に向けて、一緒に歩いていくかけがえのない友達に会いました。私がやりたい仕事について、積極的に取り組むきっかけになったと思います。  
勉強した知識を生かしたいと思う。世界のいろいろな国の文化と触れ合うのは、非常に楽しかった。
  - ・留学生と日本人は、育てられた環境が違うので、同じものを見てもいろいろ違う意見が出てくる。それをもとにして、新しい発見が生まれると思う。
  - ・自分自身の成長することが感じられた。水道・電気など料金を払ったり、食材を買ったりして、一人暮らしに慣れました。これからの生活に役に立つと思います。
  - ・アルバイト先でいつも店長に叱られて、苦勞しました。しかし、就職してからもっと厳しくなるので、今から覚悟しておけていいと思います。
  - ・自分の興味のある分野で就職したい。
  - ・役に立つと思います。日本語能力、専門の知識、いろいろな人たちとの付き合い、将来の仕事や人生による影響を与えます。
  - ・素晴らしい体験だったと思います。日本の文化・伝統、日本人のおもいやり、奉仕精神などをよく理解することができました。
  - ・今回の留学生活は、私にとってとても有意義だったと思います。いろいろな異文化にふれ、新しい生活や考え方ができました。私の人生にとって、目覚ましい発展だったと思います。そして、さまざまな問題への対処もできるようになった。
  - ・留学しているうちに学んだ知識はもちろん、培った人間関係などを生かし、将来一人前の社会人として活動したいと思っている。
  - ・留学してからは、本当に成長したと思います。自分でやらなければいけないことは、たくさんあります。友達との交流が上手になりました。

### 第三回新潟大学留学生アンケート調査に寄せて

- ・頑張っ、よりよい人生を過ごしたいです。
- ・日本語のレベルを向上させ、自分の将来に有益にする。
- ・今回の留学を通して、大好きな先生と出会い、大好きな専攻で勉強することができました。これまでの自分が知らないものをいっぱい見て楽しかったです。将来はここで身に付けた経験を生かして、視野を広げることを考えています。
- ・友達がいっぱい作れて最高です。
- ・日本の文化をたくさん知ることができ、日本人とも友達になれたので、とてもよかった。進歩した技術も勉強しました。将来は日本に来たいと思う。
- ・わからない。
- ・今後の仕事と生活に大いに役立つ。
- ・日本語が上手になるし、専門についての知識もある。
- ・人間的に成長した。専門分野のレベルが高いから、日本文化を勉強します。
- ・初めての留学なので、人生の新しいスタートです。これからの人生にすごくいい影響を与えました。
- ・Careerとしてすごくいいと思う。
- ・日本から勉強することがたくさんあります。
- ・日本語が上達でき、良い職場に就職したい。
- ・日本語で話し合えることができる。日本語関係の仕事に就きたいと思う。
- ・留学したことによって、人間的に成長しました。さまざまな困ったことや楽しいことがありました。日本文化もちょっと分かるようになってきたので、将来就職する時、何か便利なことがあるかもしれません。
- ・将来、日本で就職するつもりなので、日本の生活習慣になれることができた。
- ・将来の仕事に、新大で勉強した経験が役立てばいいと思う。
- ・いろいろなことを知ることができた。
- ・外国の友達から、各国の文化を教えられた。日本の文化を体験し、日本と日本人について、深く理解しました。
- ・新潟大学は国際化していて、個性的でした。
- ・新潟大学に来て日本人は平和を愛していることが分かり、貴重な経験になった。新潟大学に感謝している。
- ・3つの方面で今回の留学は役に立つ。1つ目は、日本の社会や文化を知ることができ、国際的な視野が広がったという点。2つ目は、大変優秀な日本の友人と共に学び、暮らすという経験を得られた点。3つ目は日本語の能力が向上した点。
- ・非常に多い。語学力が向上した。専門の最先端を学ぶことができた。ずっと日本で研究したい。
- ・今後の生活がよりよくなる。
- ・今回の留學生活はとても良い経験になった。分からないことは自分で解決する。それが無理なら他の人に助けをもらう。自立した生活が送れるようになった。

- ・日本のサービス業の印象がとても強い。調べるに値する。
- ・社会、生活の面を問わず、人生で最高の機会だった。この留学は将来に役立つ。私は確実に良くなる。
- ・言語だけでなく、処理能力も更に向上する。
- ・大きな助けになっている。日本の風俗文化、社会制度の理解ができた。
- ・私は、高水準の研究学者と先進研究に触れることができた。
- ・他の国の留学生と触れることで、それぞれの国の問題を明白にできた。

## 36

- ・国と国との間の文化、知識、生活習慣、様々な信仰の違いを理解し合えた。
- ・新潟大学を一步発展させた。
- ・留学生は、違う国の文化を交流によって教える。それだけでなく、博士後期課程の留学生が科学の基礎研究を教えて、貢献した。
- ・留学生は国際交流の使者である。
- ・留学生も新潟大学生である。留学生の努力する姿は、日本の学生にもいい刺激になるだろう。留学生と日本の大学生との交流が深まればその国の国家、生活習慣、風俗が理解できるようになる。
- ・学校の活性化。
- ・新潟大学を更に国際化させ、他の国の学生と相互補助ができる。
- ・新潟大学の知名度を上げた。新潟大学と世界中の他の国の大学との交流を促進した。
- ・留学生は、国際交流の機会を提供する。新鮮な活力を与え、研究のレベルも向上させる。また、世界各国の国家事情を理解するのに役立つ。また、世界に置いて新潟大学の知名度を上げることができる。
- ・お互いの文化は違うから、その相互交流ができる新大は国際化の方針を継続して欲しい。
- ・日中両国の友好関係を促進した。
- ・新潟大学の留学生には2つの種類がいる。1つは真面目に学業に取り組む人。もう1つは、ビザを取得するために来ている人である。後者が多いため、新大の留学生の質が悪く、世界的にも新潟大学の知名度が低い。もっと世界の大学と関わりを持った方がいい。
- ・文化交流の促進。学生の考えかたを広くさせる。学業を活性化させる。
- ・専門の勉強をすることで、お互い友達になれる。視野が広がる。日本の文化を伝播させることができる。
- ・自分が思うに、大学は各国の文化が交流される場所で無くてはならない。新潟大学ではそれができる。
- ・各国との交流も増え、日本人の学生にも各国の文化を教えることができた。
- ・生徒の多元化だと思います。これからもそれぞれの国から、さらに多くの留学生が入学するでしょう。

### 第三回新潟大学留学生アンケート調査に寄せて

- ・国際交流と自分の国の文化を表現しています。これから新潟大学といろいろな国との国際交流に影響を与えていると思っています。留学生は、新潟大学はどんな学校か、宣伝の必要がある。
- ・とても役立つと思います。生活も研究もいろいろなことが勉強になりました。
- ・新潟は国際大学の一つで、異国文化を交流することに役に立つ。
- ・国際的な交流はもちろん、日本人を国際的な人材に育てるようにすることもできます。日本人も外国人も異文化も身につけられると思う。
- ・国際大学には、留学生が必要だと思います。留学生たちは新しいものを持って来ます。
- ・新潟大学の活性化および国際化につながると思う。
- ・いろんな文化の交流ができます。
- ・まず、留学生受け入れのために、新潟大学と様々な海外の大学とが連絡しなければなりませんので、世界の情報をわかるようになりました。それから、留学生と日本人の学生と一緒に勉強したり、生活したりすると、日本人学生の考え方や、英語勉強などにもいいと思います。
- ・なにも。
- ・新潟大学の国際化に大きな促進作用があります。日中青年のお互いの理解を深くさせます。外国人の学生は日本本国の学生が異文化を理解することに役立っています。
- ・留学生は新潟大学の新しい力です。いろいろな文化との交流があります。新潟大学は留学生に有名です。
- ・新潟大学はいい学校です。熱心な先生がいるし。
- ・国際交流が促進できます。
- ・ある。
- ・たくさんの国の学生との学習や生活や遊びなど、いろいろな文化と交流することができます。新しい言語も習うことができます。外国の学生と友達になりたいです。
- ・留学生はものすごく大事な役割をはたしていると思います。これからの時代は外国語ができなく、外国の文化を知らない人は、生きていけないでしょう。
- ・多様化の視点を与えていると思います。さまざまな考えを知る窓口の一つになります。
- ・国際交流にいい影響を与える。
- ・異文化間の交流ができる。
- ・今後はいっしょけんめい勉強しつづけようと思います。
- ・新潟大学にどんな影響を与えるのかはよくわからないが、自分の周りの日本人のクラスメートや、他の国の留学生などと、お互いにコミュニケーションができ、より視野が広くグローバルになったかなと思います。
- ・新潟で留学する間に、授業以外に文化の面でも豊かになりました。異文化間の交流もできて、日本の学生も他の国の文化を知ることができます。
- ・新潟大学のランキングを上げます。また、さまざまな文化と融合して、新大の魅力を一層高める。

- ・日本語が上達するだけでなく、視野も広がって、将来のことを考えるようになってきました。
- ・留学生向けの活動がたくさん行われて、新潟大学の活躍がよく見られます。
- ・今回の留学は、私にとって役に立つと思う。日本語だけではなく、日本の文化や習慣など学ぶことができ、とてもいいチャンスだったと思う。
- ・新潟大学の国際化を進める。異文化との融合と衝突は、良い思想を作るものだと思う。留学生の存在は新潟大学が将来、世界一流の大学になるのには欠かせない条件だと思う。
- ・いろんな国からの留学生たちがいるから、色んな考え方や捉え方があるのが分かって良いなと思ってます。話し合いでもすると十中八九は長くなるのですが、面白い発想が出てきたり、お互いのことをもっと理解したりして、大学の学生たちにも良い刺激になってると思います。
- ・これからも留学生を増やしたほうがいいと思います。
- ・この点については難しいのでコメントできません。
- ・留学生を受け入れることによって、新潟大学も国際化できると思います。
- ・文化の交流に役立ちます。
- ・地域に活気を与えているのではないかと。そして、日本人大学生を含め、日本人が異なる思考方式を持つ人との交流を通じて、もっとレベルアップできるのではないかと。
- ・国際的な大学になると思います。留学生がたくさんいると、日本人との接触も多くなるので、お互いの知識や考えも交換できる。幅広い知識を持つ人材が生まれるのではないかと。
- ・新大は留学生の受入・派遣に熱心です。様々な国からの留学生たちは、異文化・知識を持って、新大に来て、新大の先生や学生と交流して、お互いに勉強になります。新大が国際的な大学を目指すのなら、留学生の役割は一番重要であると思います。留学生の質・量・構成など、いろいろ考えなければならぬと思います。
- ・新大を通じて、日本で自分の国を理解してもらいました。
- ・留学生は新潟大学の国際化に役立つと思う。多くの国の文化を持ってくるので、世界に対しての理解も深くなる。
- ・悪い中国人留学生はモラルがない、日本社会に迷惑をかける。そんなのよくないです。
- ・もっと国際化になれると思います。
- ・非常にいい大学で、いい先生といい施設がそろっていて、勉強にとってもいいです。学校もきれいで、安全なところです。スタッフもみなやさしくて、いつも助けてくれる。
- ・勉強した日本語を十分に使いたい。
- ・よくわかりません。これについて日本人の学生や教員の方々はもっと詳しいと思います。
- ・まだ分からない、将来のことだから。今の段階では少なくとも大学に国際的なイメージがついている。
- ・国と国との間の、お互いに理解するためのかけ橋は、留学生の役割であるので、新潟大学

における国際交流を促すと思う。

- ・日本語で話すチャンスが多くなる。
- ・初めて留学した大学として、もっと頑張っているいろんなことを勉強したいと思っています。

### 37

- ・ボランティア活動を斡旋して欲しい。
- ・新潟大学の留学生活には満足している。自分の専門では先端の知識があるし、図書館の蔵書も豊富、パソコン、インターネットも便利です。教授の御指導のおかげで知識がたくさん増えました。日本の友人も作る事ができました。
- ・国際交流会館の連絡が不便である。また、国際交流会館の学生管理員に女性を一人入れてほしい。
- ・各国の留学生が増加しているので、その国の学生会のようなものを作ると、連絡が取りやすくていいのではないか。新大祭に於いて、留学生が国際文化交流として、一つの出し物を出すとよい。
- ・私は、半年間国際交流会館で生活しましたが、いくらか問題がありました。まず、連絡が1.2階でしかできないことです。5階に住んでいた私には不便です。次に、インターネットが使えないということです。それが、日本の一流大学、中国の一流大学に比べ、明らかに劣っているところです。
- ・老人ホーム見学など、福祉活動を行いたい。
- ・日本文化の学習活動を増やしてほしい。日本人との交流活動を増やしてほしい。電気代、ガス代の補助を出してほしい。
- ・学会に参加する時、補助金を出してほしい。
- ・留学生の心のケアしてくれる部屋を一つ作ってほしい。
- ・会館の連絡の普及性に問題がある。
- ・学習の機会は大切である。その成果を発表できる場所が欲しい。
- ・奨学金・アルバイトの情報を増やしてほしい。
- ・活動の連絡が悪い。
- ・社会福祉活動に参加する機会がほしい。
- ・経済面での助けを多く受けた。博士が精力を尽くして作ってくださった論文を読ませていただいた。安い価格で部屋を提供して下さり、バイトをせずに、勉強に時間を費やせた。専門知識をもっと増やしたい。頭脳を豊かにしたい。
- ・学校組織の活動は公平の理念に基づいて実施されている。全ての留学生に対して平等に見ることが重要だと思う。
- ・最も重要なことは、国際交流会館についての情報をもっと分かりやすく提供することです。
- ・もっと学会に積極的に参加すべき。

- ・特にありません。
- ・日本人との交流活動は、多ければ多いほどいいと思います。
- ・留学生専用の寮があったら、もっと魅力的だと思う。
- ・国際交流活動を頻繁に促進してほしいです。
- ・日本家族の訪問。
- ・非正規生にも奨学金がほしい。
- ・旅行の地域がもっと広められればありがたいです。
- ・ホームページには英語の部分があるが、詳しく書いてないのがある。それを日本語の部分と同じくらい詳しく書いてもらえれば大変助かる。
- ・留学生支援のシステムのPRが足りない。情報がなかなか手に入らないので、システムの使用率が低い。
- ・わがままかもしれませんが、留学中にチューターがあったらいいと思います。1か月に1回か2回くらい、相談や日本語のお手伝いをしてもらえたら、留学生は助かると思います。
- ・留学生の生活を応援する活動は、さらに強化してほしい。
- ・チューターについての制度、one by oneできるのはいいと思う。
- ・全部いいと思っています。
- ・一度ホームステイしてみたいです。新潟大学がいくつかの家庭と協力し、留学生たちを一日でいいので、泊めてほしいです。
- ・新潟大学は研究や勉強のための、いい環境があると思います。図書館では新しい本がいつも入っていて、勉強環境もあるし、コンピューターも使用できるし、国際交流の活動があるので、とても満足しています。
- ・ホームステイのチャンスがあったらいいと思います。
- ・国際交流会館の自分の部屋でもインターネットができるといい。ホストファミリーもいいと思う。
- ・会館が少ないと思う。体験旅行の人数制限は重要じゃないと思う。研究室の設備が足りない。
- ・ホームステイがあるのなら、留学する前に教えてほしい。
- ・今までいろいろ手伝っていただき、感謝しています。もし留学生を呼ぶときに何か手伝うことができたらうれしいです。日本のビザをとることがきびしいですから。
- ・新潟大学は重要であります。
- ・留学生の生活に十分な条件を提供して、各方面でも完璧だと思います。すごく感謝しています。
- ・交流会館のネットワークは便利じゃない。
- ・チューターはいいと思う。
- ・会館の居住時間はとても短いです。
- ・医学部にも学生寮を建ててほしい。
- ・なんで授業料全額免除がないんですか。奨学金が少なく、同時に1つだけしかもらえな

### 第三回新潟大学留学生アンケート調査に寄せて

- い。学生は忙しいので、アルバイトの時間があまりない。
- ・会館で、インターネットの無線通信の受信状況が悪いです。自分の部屋で使えません。受信状況が良くなれば、もっと便利だと思います。
  - ・奨学金について、徹底的に留学生の生活と勉強・研究状況を把握してから奨学金を与えていただきたい。きれいなうそに負けないでください。
  - ・留学生同士の間関係が単一で、同じ国の人としか交流しない傾向があると感じます。日本人ともっと心を開き、交流を行う共同作業が必要だと思います。
  - ・留学生の中でのサークル活動を行ってほしいです。
  - ・学生寮は多いほうがいいです。今の生活は大変です。
  - ・チュータープロジェクトについて、できれば一年生のうちにいたほうが留学生に役立つと思います。
  - ・別にありません。積極的に新潟大学留学生の活動に参加したいと思います。
  - ・授業料の半額免除を申請したけど、不許可になった。次も免除されなかったら大変苦しいので、できれば許可してください。
  - ・ホームステイに参加したいが、機会があまりないですね。
  - ・自転車を借りること。
  - ・私費留学生なので、奨学金と授業料免除の許可をいただきたいです。私たち私費留学生は、両親の大切なお金を使って日本に来たので、もっと私費留学生の生活の苦しさや大変さを、地道に考えていただきたいと思っています。よろしくお願いします。
  - ・旅行について、留学生の関係を深めるためにもっと増やしてほしい。
  - ・図書館の資料がもっと充実していたら良いなと思います。それに、留学生のためのバザーがもっと活性化されたらいいと思います。新たに来る留学と、帰国予定の留学生との間で、家電とかの生活用品が受け取られるような仕組みとかができればいいなと思います。
  - ・何よりも図書館の休日の利用時間が長くなってほしい。5時までというのは非常に短いと思う。図書館のコンピューターももっと多くなってほしい。
  - ・学食や図書館や自習室や生協などの利用の仕方を、留学生たちに紹介してもらえれば助かると思う。
  - ・日本人はインターネットに対しては、あまり熱心ではないという印象があります。新大のホームページも、中国人から見れば簡素すぎます。更新も早くなればいいと思います。法学部の中国人の先生の名前を検索したら出てこなくて、すごく残念でした。今住んでいる国際交流会館の寝室ではインターネットが使えません。不便だと思います。

(本稿はアンケート調査についての分析だけであったが、アンケートのデータ等については国際センターのホームページに全文掲載する予定である)